



消防千葉

2018 No.565 平成30年11・12月号

平成30年12月1日 編集兼発行人
千葉市中央区仁戸名町666番地2 千葉県消防会館内
公益財団法人千葉県消防協会会長 石橋 毅
TEL043(263)9885
郵便番号 260-0801
ホームページ <http://business4.plala.or.jp/chisyo/>
メールアドレス chisyokai@bz04.plala.or.jp



佐倉花火フェスタ 2018 (第58回佐倉市民花火大会) (佐倉市) 印旛支部

巻 頭 言

「地域防災力向上をめざして」

印西地区消防組合消防本部 消防長 須藤 達也



印西地区消防組合は、千葉県北西部、首都圏35km圏内に位置し、昭和47年4月、印西町、白井町、印旛村及び本埜村の2町2村の構成で設立されました。その後、印西町及び白井町の市制施行、平成22年3月の市村の配置分合を経て、現在は、印西市及び白井市の2市構成となっています。

管内は北総台地の豊かな緑や印旛沼、手賀沼、利根川といった自然環境に恵まれている一方、昭和44年からの新住宅市街地開発事業により、首都圏における宅地需要に対応した良好な住宅宅地供給の推進を図るとともに、国道16号線、464号線など主要な交通道路、鉄道ではJR成田線、北総鉄道など東京都心や成田国際空港との近接な条件を活かし、安心して人が自然とふれあう活気と希望あふれる北総の中核として発展してきており、現在、管内人口は16万4千を数えています。

さて、当組合では、管内の人口増加に加え、大型商業施設の出店や大規模物流倉庫など企業の進出が続いていることから、大規模な市街地火災や物流倉庫火災などが危惧されているところです。そのため、火災を未然に防ぐ防火指導や立入検査の体制強化を進めるとともに、従来の出動体制の見直しを行い、常備消防力の初動体制の整備を進めています。

また、今年も全国各地で自然災害が発生し、西日本では集中豪雨と台風による土砂崩れや浸水被害があり、6月には大阪北部地震、9月に震度7を記録する北海道胆振東部地震が起こり、甚大な被害が発生したところです。この地域でも、河川の氾濫などとともに、首都直下型地震や千葉東方沖地震、さらには東海、東南海、南海の巨大地震などの大規模地震発生懸念が高まる中、常備消防の対応力と体制の強化が求められているところです。

このように、ますます消防行政の重要性が高まっていく中で、消防職員一人ひとりが地域防災のリーダーとしての役割を再認識しなければならないと感じているところです。そのために当組合では、人材育成と資質向上などを柱に、職員の能力向上の取り組みを行う一方で、県内外の消防関係機関との更なる連携・協力体制の充実強化を図っていきたいと考えています。

最後になりますが、未曾有の大災害への対応において、常備消防力だけでは限界があるため、消防団や自主防災組織をはじめとする地域住民との連携も不可欠です。日頃の業務の中から、消防団、地域住民との密接な関係を築き、「自助・共助・公助」を念頭に地域防災力の向上を図る大切さを伝え、私の巻頭の言葉とさせていただきます。

第26回 全国消防操法大会の開催

平成30年10月19日（金）午前9時から第26回全国消防操法大会が富山県富山市の富山県広域消防防災センターにおいて、総務省消防庁及び公益財団法人日本消防協会の主催により開催されました。



当日は、秋晴れの中、全国各地からそれぞれ厳しい戦いを勝ちぬいてきた、ポンプ車の部23都府県23チーム、小型ポンプの部25 道府県25チームが参加しました。



秋本会長挨拶



応援席

9時からの選手団入場、開会宣言、国旗掲揚に続き、第25回大会で優勝した島根県松江市消防団（ポンプ車の部）、三重県伊賀市消防団（小型ポンプの部）から優勝旗の返還の後、黒田武一郎消防庁長官及び秋本敏文日本消防協会会長から挨拶がありました。

その後、来賓の祝辞、選手宣誓があり、10時から操法が開始されました。

千葉県からは、8月4日に行われた千葉県消防操法大会において小型ポンプの部で優勝した市川市消防団（高橋廣孝団長）が出場しました。

スタンドの上には各チームの幟が立ち並び、真新しい市川市消防団の幟がはためいていました。スタンド及び一般席には石橋会長、石川防災危機管理部長をはじめ大勢の応援団が来場して、演技を見守っていました。



競技後の慰労会



出場選手

今回出場した市川市消防団（指揮者 岡本絢吾、1番員 岡本成生、2番員 皆川敬祐 3番員 高橋和洋、補助員 岡本亘騎）は、連日の厳しい訓練に耐え抜いた、精鋭揃いです。

演技が開始すると、さすがに各県の代表だけあって、きびきびとした演技を披露していました。

市川市消防団は、小型ポンプの部開始から8番目に、大きな声援のなか堂々と演技を行いました。4時には審査長から、ポンプ車の部の優勝は栃木県益子町消防団、小型ポンプの部の優勝は滋賀県日野町消防団と審査結果が発表されました。

市川市消防団は、惜しくも入賞を逸しました。

その後、表彰式がおこなわれ、第26回全国消防操法大会は盛会の内に終了しました。

富山県広域消防防災センターの北側駐車場では、「地域を守る富山・消防防災展」・「消防団交流富山・物産展」が開催され、最新の消防防災機器及びシステム等の展示や富山県内の特産物の販売などが行われました。



第37回全国消防殉職者慰霊祭

平成30年9月13日（木）、「第37回全国消防殉職者慰霊祭」が日本消防会館ニッショーホールで殉職者遺族、各県の消防協会関係者等の出席により執り行われました。

昭和23年の自治体消防発足以来、旺盛な郷土愛護と崇高な消防精神に燃え、全国の消防職団員による地域に根ざした防災活動の展開のなかで、残念なことに毎年消防殉職者が発生しており、その御霊は新たに合祀した6柱を加えて5,757柱を数えております。

式では秋本敏文日本消防協会長の式辞、内閣総理大臣（代理西村内閣官房副長官）野田総務大臣及び遺族代表の追悼のことは、参列者の皆様の献花が行われた後、江戸消防記念会による鎮魂の歌（木遣り）が披露されました。

千葉県からは遺族の方4名と佐倉市、山武市及び君津市の職員並びに千葉県消防協会会長など8名が参加しました。



式辞を述べる秋本日本消防協会長



内閣総理大臣（代理西村内閣官房副長官）の追悼の言葉



野田総務大臣の追悼の言葉



遺族による献花



（一社）江戸消防記念会による鎮魂の歌（木遣り）

第24回全国女性消防団員活性化滋賀大会の開催

第24回全国女性消防団員活性化滋賀大会が平成30年11月9日(金)午前10時から『母なる湖 琵琶湖へようこそ 近江の国から発信!～今こそ一致団結女性消防団!』の大会テーマのもと「ウカルちゃんアリーナ(滋賀県立体育館)」で開催されました。

主催者挨拶として大村消防庁国民保護・防災部長、秋本日本消防協会会長及び植田滋賀県大会実行委員会委員長からのご挨拶がありました。

大会は初めに、奈良県橿原市消防団、三重県桑名市消防団による活動事例発表が行われ、次に、大分県佐伯市消防団、大阪府高槻市防団による防火防災啓発劇が披露されました。

午後からは、記念講演として、元WBC世界バンタム級チャンピオンの山中慎介氏による「継続は力なり」と題した講演が行われました。



参加者

午後の部の活動事例発表では、千葉県浦安市消防団の澤田分団長による「浦安市女性消防団員による効果的な入団促進活動～3年で22名の入団～」の発表があり、好評であったと聞いております。その後、岐阜県多治見市消防団、高知県土佐市消防団による事例発表が行われました。

また、富山県富山市消防団、滋賀県野洲市他3市消防団による防火防災啓発劇が披露されました。

「母なる湖、琵琶湖へようこそ、近江の国から発信!」のよびかけで全国から滋賀に集結。情報交流を深め、全国の絆を強めながら、力を合わせて近年相次いでいるさまざまな火災、自然災害から大事な家族、地域を守ることをあらためて確認。母なる湖に抱かれつつ、全国女性消防団員、地域の安全確保に向かって、思いはひとつ、心もひとつ。」との大会宣言を行って閉会しました。

本県からは、千葉市、習志野市、市原市、船橋市、松戸市、柏市、浦安市、佐倉市など8消防団50名と石橋消防協会長と協会事務局2名が参加しました。



参加者



浦安市展示コーナー



浦安市活動事例発表

第42回 空気呼吸器装着訓練の開催

平成30年10月15日（月）午後1時から千葉県と千葉県高圧ガス地域防災協議会の主催により、毒性ガスによる災害事故が発生した場合に、事業所の従業員が適切な防災活動を行えるよう空気呼吸器の適確な装着と迅速な作業方法を習得することを目的として、県内のコンビナート地区及び内陸部の高圧ガス関係事業所の従業員による第42回空気呼吸器装着訓練が千葉県消防学校屋外訓練場において開催された。

各事業所1チーム2名で選抜された32事業所64名、2コースに分かれて、スタートからゴールに至るまでの所要時間、空気呼吸器の装着等の作業が、一定の方法により完全に行われたか否か及び防災キャップ等が、完全に装着されているか否かを競い、成績優秀な7事業所が次のとおり表彰されました。

- 1 経済産業省
関東東北産業保安監督部長賞
出光興産(株)千葉事業所
- 2 千葉県知事賞（優秀賞）
JNC石油化学(株)市原製造所
- 3 千葉県知事賞（優良賞）
AGC(株)千葉工場
- 4 厚生労働省千葉労働局長賞
JFEケミカル(株)東日本製造所 千葉工場
- 5 高圧ガス保安協会会長賞
三井化学(株)茂原分工場
- 6 千葉県高圧ガス地域防災協議会会長賞
日立化成(株)五井事業所
- 7 一般社団法人千葉県高圧ガス保安協会会長賞
KHネオケム(株)千葉工場



消防・防災活動に関する出前講座の開催

消防団活動への参画や消防・防災活動についての理解を図ることを目的として、千葉県消防課の主催により、平成30年10月29(月) 県立市原八幡高校において、出前講座が開催されました。

講座は6、7時限目で行われ、柔・剣道場では、15グループ(1グループ8人)に別れ、AEDを使用した心肺蘇生法の実習がされたほか、卓球場では、消防団PRムービーによる消防団の概要説明とパネルシアターや寸劇による消防団業務の紹介が行われました。

今回の講座で、実習では帝京平成大学の学生消防隊、救急救命士コースの学生さんに、消防団業務の紹介については、市原市消防団のみなさんに活躍していただきました。



消防団の概要説明



消防団 PR ムービー



市原市消防団のパネルシアター



市原市消防団の寸劇



心肺蘇生法実習



心肺蘇生法実習

「全国女性防火クラブの集い」及び「応急手当普及啓発推進会議」

松戸市女性防火クラブ会長 石村 時子

◎平成30年10月4日木曜日。ホテルルポール麹町ロイヤルクリスタル会場にて、「全国女性防火クラブの集い」が開催されました。

出席者は、竹内会長をはじめ、市川市会長、松戸市会長の3名でした。

国士舘大学防災・救急救助総合研究所教授山崎豊氏による「女性の視点を防災に」、総務省消防庁予防課長鈴木康幸氏による「住宅防火対策に係る最近の取り組み等」、一般社団法人日本火災報知器工業会住宅防火推進委員会委員長青木良二氏による「住宅用火災警報器に関する取り組み等について」の講演がありました。

- ・災害は、社会の弱いところを明らかにし、加速させる。
- ・地震の多い時代に入る。
- ・次の防災対策を考える。
- ・住宅用火災警報器10年で5千万件設置。

などのお話がありました。

意見交換会では住宅用火災警報器設置場所についての再確認。CO住警器や共同購入についてのお話がありました。

◎10月5日金曜日は、「第19回応急手当普及啓発推進会議」が行われました。

「平成30年度救急講習会実施状況等について」では、新潟県の鈴木会長、大阪府の田中会長の事例発表がありました。



秋本会長挨拶



川崎市消防局警防部救急課救急指導係長白井泰延氏による「救急現場から見た応急手当講習会受講の必要性」、総務省消防庁救急企画室理事官守谷謙一氏による「救急業務の現状と課題」の講演がありました。

貴重な講演に参加することができ、有意義な二日間でした。

わが町の消防団 ① 習志野市消防団

「あしたのハーモニーが響くまち 習志野」こどもから大人まで音楽に親しみ、自然と調和するまち、習志野。明日に向かって新しい魅力がどんどん生まれている街です。

習志野市は、千葉県の北西部に位置し、古くは騎兵連隊・鉄道連隊が置かれるなど軍隊の街として発展してきました。高度経済成長期と共に海岸部は埋め立てられ、現在は、その平坦な埋立地と内陸部の自然地形からなる20.97km²、人口17万人の文教住宅都市として発展しています。また、東京まで30km圏内にあり、各種交通網の発達と近年のJR津田沼南口地区の区画整理事業により首都圏に通う人々のベッドタウンとして発展が著しいのも特徴です。



一方で、ラムサール条約登録湿地の谷津干潟をはじめとする自然があふれ、音楽のまちといわれるほど、市内の学校では毎年全国コンクールで栄誉を受け、年の瀬には300人の第九演奏会が行われ美しいハーモニーを響き渡らせています。スポーツも盛んで、その代名詞が全国レベルの部活動を誇る市立習志野高校です。その他にもアメフト強豪チームの練習拠点や大相撲、阿武松部屋があります。また、ご当地グルメとして習志野ソーセージも有名です。



習志野市消防団は、池田博団長以下155名（平成30年11月現在）で組織され、1団本部8分団で構成されています。うち女性消防団員は11名で団本部付として消防関係行事や救命講習等で活躍しています。各分団には、それぞれ消防ポンプ自動車（CD-1型）を1台配備し、市内のどこで災害が発生しても素早く現場まで駆けつけ迅速に消火活動ができる体制を敷いています。

また、日ごろから、規律、機械器具の取扱い、中継送水・放水、消防団車両の操縦などの定期訓練、操法

訓練を行っており、春・夏・秋季の消防団全体訓練では災害対応能力の向上や安全運転技術の習得を目指した訓練を実施しています。このほか、市や地域の町会等が行う防災訓練や、小中高校への普通救命講習に積極的に参加し地域防災力の強化に努めています。

さらに、消防団を取巻く環境の改善と充実にも力を入れており、平成27年度には防火・視認性能に優れた新しい防火衣へ更新し、平成28年度には第2分団詰所の建替、新基準の活動服への更新整備を実施、そして、今年度は、全消防団車両へのドライブレコーダーの設置を行いました。ソフト面における環境づくりでは、今年度新たな取り組みとして市内消防操法



大会が第50回を迎えたことを機に従来の団体・個人賞のほか新人賞を設けました。若手の消防団員や活動が活発でなかった消防団員も積極的に訓練や大会に参加できるよう実施したもので、若手消防団員の技術やチームワークの向上、そして消防団全体の活性化につながっています。

最後に今後起こるとされている地震、台風、異常気象などにも対応するため、普段から訓練を積み重ね一致協力して、習志野市民の安全・安心を守るという強い使命感のもと今後も活動してまいります。

わが町の消防団 ② 鴨川市消防団

鴨川市は平成17年2月に旧鴨川市と天津小湊町の合併により誕生しました。房総半島の南東部、太平洋側に位置し、清澄山系、嶺岡山系の山間地・丘陵地が多くを占め、平坦地は比較的少ないのが特徴です。これらの山間丘陵地に挟まれるように米どころとして知られる長狭平野が広がっています。

市街地は湾岸部を走る国道128号線とJR外房線・内房線沿いの平地を中心に形成されています。温暖な気候と美しい海岸線、緑あふれる山々など豊かな自然に恵まれているほか、多彩な観光レジャー施設や高度な医療施設、更には日蓮聖人の生誕地として豊かな歴史を持つ街でもあります。

鴨川市消防団は佐藤則泰団長以下651名(平成30年4月1日現在)が4支団25分団33部で構成され、消防ポンプ自動車28台、小型ポンプ積載車5台、指揮車2台を保有し、災害現場へ迅速に到着できるように、地域と密着した消防防災体制を構築し、市民の安心と安全を守るため、昼夜を問わず活動しています。

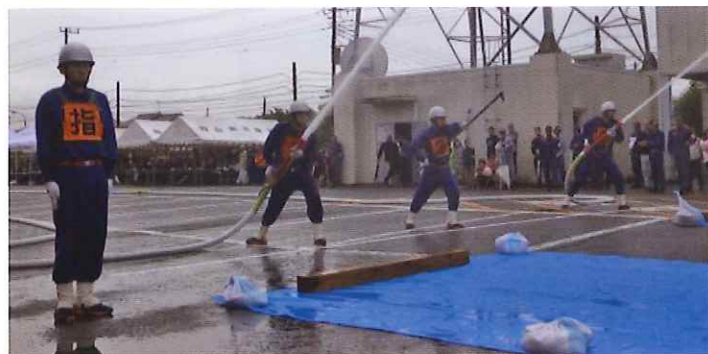


消防団の主な活動は、火災発生時の消火活動はもとより、冬期の夜警活動、行方不明者の捜索のほか、最近では地震、津波等の大規模災害時に備えた活動など、複雑・多岐に渡っており、その責務は重大なものとなってきています。

このため、日常の水利施設の状況調査や機械器具の点検は各分団ごとに団員が毎月欠かさず行なっているほか、年2回の救急救命講習を常備消防に依頼し、1回30名から40名の団員が受講して知識と技術を身につけています。また、年度初めの4月に幹部・新入団員訓練を実施し、幹部団員は幹部として必要な統率力を身につけ、新入団員は規律を中心に訓練を行なっています。

さらに、団員の消火活動の技術向上を図るべく、毎年市の消防操法大会を実施しています。大会までの約2ヵ月間、各分団員は訓練に励み、大会で最優秀賞を収めた分団は安房支部消防操法大会に出場します。安房支部大会を勝ち抜いて出場した千葉県消防操法大会では、これまで幾多の優秀な成績を収めております。

また、本部付け女性消防隊として11名の女性団員が在籍し、火災予防の啓発活動を行ったり、常備消防が一般向けに行なう救急救命講習に応急手当指導員として参加するなど、精力的な活動をしています。平成13年には千葉県代表として、全国女性消防操法大会にも出場しています。最近では少子高齢化に伴い、消防団員の確保は本市消防団においても切実な課題となっておりますが、我々消防団員は市民の生命と財産を守るという重責を負っているということを深く認識し、住民の期待に応えられるべく、日々向上心を持って、精進してまいりたいと思います。



東 南 西 北

東西南北 公用車の事故防止に伴う安全運転研修を実施 松戸市消防局 小金消防署

松戸市小金消防署は、平成 30 年 9 月 3 日、4 日に松戸市八ヶ崎緑町にある（株）日立物流センター（旧日立教習所）において公用車の事故防止を目的に安全運転研修を実施しました。

機関員や誘導する隊員の意思疎通を図りながら、普段運用している実車両を用いて車両感覚の再確認、誘導要領や危険回避を実施するなど運転技能の向上を図りました。

通常走行や緊急走行など消防業務の中では、常に車両を運行しています。公用車で無事故を目指して、市民サービスの低下に繋がらないよう今後も知識、技能向上に努めます。



東西南北 新型インフルエンザ対応合同訓練を実施 習志野市消防本部

習志野市消防本部では、平成 30 年 9 月 25 日（火）に習志野保健所と新型インフルエンザ対応合同訓練を実施しました。

この訓練では、保健所職員の指導のもと搬送車両の養生、感染防護衣の着脱、その後、傷病者が発生した想定にて 119 番入電から指令センターと保健所及び医療機関との連絡体制、また救急隊と保健所職員での傷病者対応と連絡連携体制を重点訓練項目にかかげ行いました。実施後に行った検証が有事の際に活かされるよう今後も訓練に取り組むとともに、より一層保健所との連携強化を図って参りたいと思います。



東西南北 救急車の適正利用を呼びかけ 松戸市八ヶ崎消防署

松戸市八ヶ崎消防署は、松戸市防火協会八ヶ崎支部のご協力のもと、救急車の適正利用を呼びかける横断幕を作成し、救急医療週間に伴う事業の一環として、庁舎に掲出した。

この横断幕は、市民の皆様が増大する救急需要に適切に対応していただくため、命の危機に直面している人を少しでも早く病院へ搬送できるよう、症状が軽い場合や、緊急性のない通院等においては、救急車の適正な利用についてご理解ご協力をお願いしている。



東 西 特 殊 災 害 対 応 図 上 シ ミ ュ レ ー シ ョ ン 訓 練 を 実 施 南 北

松戸市消防局

松戸市消防局では、平成30年10月19日に松戸市消防訓練センターにおいて、高速自動車道路における多重衝突事故（マイクロバス1台及び乗用車3台）により多数の負傷者が発生したとの想定により、図上シミュレーション訓練を実施しました。



この訓練は、東京外環自動車道の千葉県区間延伸に伴い高速自動車道路における多重衝突事故現場において、指揮・情報伝達体制、活動上の危険要素の排除及び必要部隊・人員の配置を含む早期の災害現場体制の確立イメージを構築し各部門との連携活動により円滑に収束させることを目的として松戸市立総合医療センターの医師も参加し実施しました。

また、平成30年11月20日に実施する特殊災害対応訓練（実働訓練）前に各隊員が課題等を抽出する良い機会となりました。

当市消防局では、今後もこのような訓練を継続的に実施しあらゆる災害に対応していきます。

東 西 沼 南 消 防 フェ ス タ を 開 催 南 北

柏市消防局沼南消防署

柏市消防局沼南消防署では、セブンパークアリオ柏にて平成30年10月14日(日)沼南まつりの開催に伴い、沼南消防フェスタを開催しました。この催しは毎年行っており、消防広報活動及び火災予防啓発活動を目的に実施しています。

会場では3,100名の来場者がロープ渡過や放水、ミニ消防車の乗車などを体験しました。

また、市民と交流することで、地域防災の重要性を職員一人ひとりが自覚することができました。

今後も共助のできるまちづくりを目指し、「自分のまちは自分で守る」意識を高めていけるよう、広報活動に取り組んで参ります。



東 西 高 規 格 救 急 自 動 車 寄 贈 式 を 実 施 南 北

銚子市消防本部

銚子市消防本部では、平成30年11月2日高規格救急自動車寄贈式を実施しました。

週末にマリンレジャーで銚子市へ訪れるご縁で、東京都港区在住の飯島様から銚子市民や観光客などの救急活動に役立てて欲しいと寄贈を受けました。

個人による救急自動車の寄贈は当消防本部では初めての事です。

「YUTAKAエンジェル救急車」と命名され、車両に寄贈者の干支であるトラのキャラクターを表示することで、優しいイメージを持たせ、子供たちや市民の救急車に対する関心を高め、救急業務の理解を深めて頂きます。



YUTAKA
エンジェル救急車



日々の動き

防災危機管理部／消防協会 共同編集

平成 30年 11月・12月

- 11月9日 全国女性消防団員活性化滋賀大会（滋賀県）
- 24日～25日 消防団員指導員研修（消防学校）
- 28日 千葉県女性消防団員活性化シンポジウム（千葉市）
- 29日 関東甲信地区消防協会事務局長会議（茨木県）
- 12月19日 千葉県消防協会臨時理事会（千葉市）



平成30年度 全国統一防火標語

「忘れてない？ サイフにスマホに 火の確認」

平成30年 冬の交通安全運動

12月10日(月)から12月19日(水)

スローガン ～その一杯 愛車も走る凶器に 早変わり～

<表紙の説明>

佐倉花火フェスタ 2018（第58回佐倉市民花火大会）（佐倉市）印旛支部

佐倉市民花火大会は、昭和31年佐倉樋之口橋納涼大会として始まり、平成17年に中止されたものの、市民の強い要望により、平成19年から「佐倉市民花火大会」として新たに生まれ変わりました。今年は8月4日（土）に開催し、10分間で8,000連発打ち上げるビッグプレミアムスターメインや大迫力の二尺玉4発の打ち上げ、関東では珍しい手筒花火、印旛沼ならではの至近距離で花開く水上花火の打ち上げなど、総打上数約18,000発が夏の夜空を彩りました。

